

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	治山事業	事業コード	477
------------	------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	小規模な山崩れ、土石流、地すべり、なだれなどの山地災害により、住宅や公共施設などが災害を受ける恐れがあるところに、治山施設を設置して市民の生命、財産を保全する。				
	概要	山腹工（山腹法面を安定させる土留工）や溪間工（山脚・溪床を固定するための治山ダム）（県：50%、市：37.5%、地元：12.5%）を行う。				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託（一部）				
内容	山腹工、溪間工、法枠工等治山施設の設置を民間業者に発注している。					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
			実績値					

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	溪間工、山腹工の実施箇所数			目標値				1	1
				実績値					
	計算根拠	実施箇所		達成率(%)					
				実数値					
	溪間工、山腹工の実施箇所数		%	目標値	100	100	100		
				実績値	-	100	100		
	計算根拠	実施箇所/実施予定箇所		達成率(%)	-	100	100		
				実数値	0/0	1/1	1/1		
			ランク	-	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	補助(県)事業		臨時・嘱託	
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	0	0	6,000	2,000	2,500	
	決算額	0	0	6,000	2,000		

小規模荒廢地治山事業(県単)

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	山地災害発生箇所、山地危険箇所を抱えている地区からの要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	森林は多面的機能を有し、市民の生命、財産を守る上でも、治山事業は重要な役割を果 たしているため、市が行う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	類似重複	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	設計段階で考えられるコスト削減を行っている。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>			根拠	県単治山事業採択基準に基づいている。	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	現在、要望箇所は実施されている。

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 山崩れなどの山地災害から市民の生命財産を守るため、 上戸口地区で災害の未然防止のため、溪流工を整備す る。また、事業に対して住民への周知を行う。	平成31年度計画 大正寺町において溪流の氾濫による山地災害を防ぐた め、コルゲート水路を50m整備する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	道路交通安全対策事業	事業コード	479
------------	------------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	433
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなで作ろう安全・安心なまち	交通安全の推進	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	道路反射鏡や防護柵等を設置し、通行者や住民が安全で円滑な通行ができる道路交通環境を確保する。				
	概要	区画線、道路反射鏡、防護柵（ガードレール・ガードパイプ・転落防護柵）、視線誘導標等の交通安全施設の整備・補修を行う。				
	法令根拠	道路交通法				
実施形態	現在	民間等委託（一部）				
	内容	区画線、道路反射鏡、防護柵（ガードレール・ガードパイプ等）、視線誘導標等の交通安全施設の設置・補修を民間に発注する。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
			実績値					

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	交通安全施設のパトロール等の実施	回	目標値				12	12
			実績値					
	計算根拠	パトロールの実施回数	達成率(%)					
			実数値					
	交通安全施設のパトロール等による設置・補修率	%	目標値	100	100	100		
			実績値	100	100	100		
計算根拠	パトロールの実施回数	達成率(%)	100	100	100			
		実数値	76/76	55/55	56/56			
		ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	24,588	14,600	13,600	11,900	11,400	
	決算額	24,588	14,582	13,599	11,896		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	交差点における視認性の確保(カーブミラーの設置等)や交通安全に対する施設整備等の 要望が多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	交通規制関係は公安委員会との調整が必要であるが、他の交通安全対策は道路管理者と して実施すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	交通安全上必要な施設整備などであり削減できない。		
		根拠	交通反則金による交付金を受けている。		
		根拠	交通事情に即した対応が必要であり、今後も同様に事業を進めていかなければなら ない。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み パトロールを実施し、区画線・道路反射鏡・防護柵等の 整備および維持補修を行う。	平成31年度計画 パトロールを実施し、区画線・道路反射鏡・防護柵等の 整備および維持補修を行う。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	市道整備(改良・舗装)工事	事業コード 481
------------	---------------	--------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなでつくろう安全・安心なまち	公共インフラの長寿命化
436				

PLAN(計画)	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市道の整備を行い、通行者や住民に対し交通の安全性や利便性の向上を図る。					
	概要	市道における交通弱者対策や車両の大型化および舗装の老朽化等を総合的に検討し、拡幅や線形改良などの道路改良工事や舗装の整備工事を行う。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	民間等委託(一部)				
	内容	測量設計業務の民間委託および道路改良工事や舗装工事を民間業者に発注する。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	安全確保のため緊急を要する工事・補修箇所数		箇所	目標値				60	60
				実績値					
	計算根拠	工事・補修対応箇所数		達成率(%)					
				実数値					
	安全確保のため緊急を要する工事・補修率		%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	100		
	計算根拠	工事・補修対応箇所数/対応必要箇所数		達成率(%)	100	100	100		
				実数値	99/99	78/78	63/63		
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.5			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	普通建設事業費			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	98,800	86,100	81,100	85,910	90,000			
	決算額	98,800	86,100	81,100	85,910				

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	道路の側溝や舗装の損傷等は住民の身近な問題であるため、地元要望は多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	道路を良好に維持することは道路管理者としての責務である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	工法の検討や関係機関等との工事発注時期の調整・共同施工等によりコスト削減に努力している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助事業などで対応できる事業は補助事業などを活用している。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	財源減少の中、市道延長は増加しており住民の要望も増加しているため、成果の向上は困難である。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 道路側溝や舗装等の改良工事を実施する。	平成31年度計画 道路側溝や舗装等の改良工事を実施する。 市道新横江3号線舗装改良工事 (約60箇所)

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	林道事業 (県補助)	事業コード	497
------------	------------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	436
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなで作ろう安全・安心なまち	公共インフラの長寿命化	

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	森林の適正な管理や効率的な林業経営を進めるため、林道の整備を行う。				
	概要	改良・舗装・災害復旧工事を行う。(県:50%、市:50%)				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)			
	内容	林道の改良、舗装、維持工事を民間業者に発注している。				

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
			実績値					

DO (実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	事業実施箇所数	箇所	目標値				4	4
			実績値					
	計算根拠	実施箇所数	達成率(%)					
			実数値					
	事業実施率	%	目標値	100	100	100		
			実績値	100	100	100		
計算根拠	実施箇所/実施予定箇所	達成率(%)	100	100	100			
		実数値	4/4	4/4	3/3			
		ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	補助(県)事業		臨時・嘱託	
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称 県単林道事業
	予算額	27,000	27,000	27,000	26,701	27,142	
	決算額	27,000	26,913	26,669	26,511		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	木材価格の低迷等で、森林への関心が薄れているのが現状ではあるが、森林を抱えている地区からの要望がる。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	森林は、土砂災害、洪水災害、風害災害の緩和、また生物多様性の保全や地球温暖化防止など、多様な機能を有しており、森林保全には林道は不可欠な施設であるとともに、市が管理する林道である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	設計段階で考えられるコスト削減を行っている。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	県の実施要領で補助率が定められている。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	予算措置が出来れば数値目標は達成することが出来る。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	森林整備および林業振興を図るため、林道改良工事を実施する。 ・上河内尾花線 ・荒谷線 ・沢線 ・石生谷線	平成31年度計画	森林整備および林業振興を図るため、林道改良工事を実施する。 ・広野山線 15m ・荒谷線 175m ・石生谷線 280m ・沢線 240m

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施



平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	林道事業 (単独)	事業コード	510
------------	-----------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	436
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなで作ろう安全・安心なまち	公共インフラの長寿命化	

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	森林の適正な管理や効率的な林業経営を進めるため、林道の整備を行う。				
	概要	林道改良・舗装・維持工事等を行う。(市:100%)				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)			
	内容	林道の改良、舗装、維持工事を民間業者に発注している。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					

DO (実施)	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	事業実施箇所数		箇所	目標値				5	3
				実績値					
	計算根拠	実施箇所		達成率(%)					
				実数値					
	事業実施率		%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	100		
計算根拠	実施箇所/実施予定箇所			達成率(%)	100	100	100		
				実数値	6/6	4/4	8/8		
			ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	3,673	3,026	3,250	2,299	2,000	
	決算額	3,673	3,026	3,250	2,298		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	木材価格の低迷等で、森林への関心が薄れているのが現状ではあるが、森林を抱えている地区からの要望はある。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	多面的機能を有している森林の維持・管理に不可欠な施設であり、市が管理している林道であるため、市が行う必要がある。		
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>	
			事業名			
		根拠				
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>		
		事業名				
根拠						
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	設計段階で、考えられるコスト削減を行っている。			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助採択要件に該当しない範囲を実施する。			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	計画的に実施しているため。			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 市内の林道維持工事等について維持していく。 ・ 荒谷線（他4箇所）	平成31年度計画 市内の林道の改良および維持工事等を行う。 ・ 林道上戸口線他（他2箇所）

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	橋梁整備事業 (新設改良・補修)	事業コード	516
------------	------------------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなで作ろう安全・安心なまち	公共インフラの長寿命化
436				

PLAN(計画)	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市道における橋梁の整備や補修を行い、安全で円滑な交通環境を確保する。					
	概要	橋梁拡幅等の改良や塗装の塗替え等補修工事を行う。					
	法令根拠	道路法					
	実施形態	現在	民間等委託 (一部)				
	内容	設計業務等の民間委託および橋梁の改良や補修工事を民間業者に発注。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	橋梁の安全確保のための工事・補修箇所数		箇所	目標値				2	2
				実績値					
	計算根拠	工事・補修対応箇所数		達成率 (%)					
				実数値					
	橋梁の安全確保のための工事・補修率		%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	100		
	計算根拠	工事・補修対応箇所数 / 対応必要箇所数		達成率 (%)	100	100	100		
				実数値	5/5	8/8	6/6		
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	普通建設事業費			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	6,000	2,790	6,000	4,500	4,000			
	決算額	5,690	2,786	5,999	4,303				

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市民の交通に関する安全意識は高く、道路整備と併せた整備が求められている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	道路橋梁の維持は道路管理者としての責務である。	
	効果・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	効率・効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	現場の諸条件を検討しコスト削減に努めている。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>		根拠	補助事業で対応できる事業は補助事業を活用している。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>		根拠	交通環境の変化や橋梁の老朽化が進む中、成果の向上は厳しい。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	橋梁点検の実施 橋梁の改良・補修の実施	平成31年度計画	橋梁点検の実施 橋梁の改良・補修の実施

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	土地改良事業 (県補助)	事業コード 529
------------	--------------	--------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 魅力ある雇用の創出	基本施策 もうかる農業経営の確立	実施施策 農業基盤の整備促進	154

PLAN(計画)	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	用排水路等の生産基盤整備により、農用地利用の高度化および農業経営の安定化を促進する。					
	概要	県単土地改良事業 農業用排水路や農道等の小規模な整備工事を行う。(国:0%、県:50%、市30~50%、地元20~0%) 集落基盤整備事業 農業用排水路や農道、集落道等の改良工事を行う。(国:50%、県20%、市5~30%、地元:25~0%) 農地耕作条件改善事業 農地の区画拡大や暗渠排水の整備を行う。(国:100%)					
	法令根拠	土地改良法					
実施形態	現在	民間等委託(一部)					
	内容	農業用排水路や農道、集落道の整備、農地の区画拡大や暗渠排水の整備等を民間業者に発注している。					

DO(実施)	活動指標									
	指標名			単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難				目標値					
					実績値					

DO(実施)	成果指標									
	指標名			単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	事業実施箇所数			箇所	目標値				8	4
					実績値					
	計算根拠	実施箇所			達成率(%)					
					実数値					
	事業実施率			%	目標値	100	100	100		
					実績値	100	100	100		
	計算根拠	実施箇所/実施予定箇所			達成率(%)	100	100	100		
					実数値	16/16	28/28	31/31		
				ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	2.4
	事業タイプ	補助(県)事業		臨時・嘱託	0
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称 農山漁村地域整備交付金 県単小規模土地改良事業
	予算額	176,828	308,180	306,315	229,765	182,330	
	決算額	176,768	217,935	303,731	229,765		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	老朽化した農業用施設を改修し、農業生産性の安定化を図るに必要な事業であり、各地区から多くの要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	多額の経費を要する農業基盤の整備は、農家だけでは負担しきれない状況であり、さらに農地や農業用施設は、防災機能や環境保全など、多面的機能を有することから、市の連携して取り組むべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ある	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	設計段階で、コスト縮減している。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	県の実施要領に基づき実施している。	
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	事業費を増加すれば成果が向上するが、県の予算の範囲以内で事業の割当てがあるため、限られる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	今後も事業の規模、緊急性、必要性ならびに市内での均衡を図りながら実施する。 ・集落基盤整備事業 （集道3路線、排水路1路線、環境整備1箇所） ・県単土地改良事業 （排水1箇所、頭首工1箇所、農道1箇所）	平成31年度計画	事業の規模、緊急性、必要性ならびに市内での均衡を図りながら実施する。 ・集落基盤整備事業 （設計調査1箇所） ・県単土地改良事業 片上排水機場の雨漏り修繕他、農業用排水路整備を行う。（3箇所）

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	土地改良事業 (単独)	事業コード	535
------------	-------------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進

154

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	農道、用排水路等の生産基盤整備により、農用地利用の高度化および農業経営の安定化を促進する。				
	概要	市内一円における農道や用排水路等の農業用施設のうち、小規模で緊急を要する整備修繕 (地元30~40%) を行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託 (一部)			
	内容	農業用排水路や農道の整備等を民間業者に発注している。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	事業実施箇所数		箇所	目標値				15	13
				実績値					
	計算根拠	実施箇所		達成率 (%)					
				実数値					
	事業実施率		%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	100		
	計算根拠	実施箇所/実施予定箇所		達成率 (%)	100	100	100		
				実数値	18/18	16/16	19/19		
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託					
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0				
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	16,200	7,922	8,200	10,400	19,400			
	決算額	16,200	7,922	8,153	10,083				

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	老朽化した農業用施設を改修し、農業生産性の安定化を図るに必要な事業であり、各地区から多くの要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	多額の経費を要する農業基盤整備は、農家だけでは負担しきれない状況であり、さらに農地や農業用施設は防災効果など多面的機能を有することから、市も連携して取り組むべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	所管課	農林政策課	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名	土地改良事業（県補助）	
			根拠	県補助事業の採択は、工種、事業費に制限がある。	
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	設計段階で、コスト縮減している。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	分担金条例による受益者負担を、賦課基準の最大値を、賦課している。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	事業費を増額すれば成果が向上するが、予算が限られている。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	事業の規模、緊急性、必要性ならびに市内での均衡を図りながら市で実施する。 (工事12箇所、計画調査1箇所、長寿命化調査2箇所)	平成31年度計画	地元からの要望に対し、事業の規模、緊急性、必要性ならびに市内での均衡を図りながら、農業用排水路の整備および揚水機場の修繕等を行う。 (工事12箇所、長寿命化1箇所)

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施



平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	河川水路整備事業	事業コード
		544

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	道路・河川・公園の保全

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	浸水被害等を軽減し、市民の安全と生活環境の保全を図る。				
	概要	市が管理する水路（河川）について、必要断面の確保や線形の改良等を行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	設計業務の一部委託および水路工事を民間業者に発注している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	※設定困難		目標値						
			実績値						

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	治水や環境保全のため緊急を要する工事・補修箇所数	箇所	目標値				5	5	
			実績値						
	計算根拠	水路整備箇所数	達成率(%)						
			実数値						
	治水や環境保全のため緊急を要する工事・補修率	%	目標値	100	100	100			
		実績値	100	100	100				
計算根拠	水路整備箇所数/対応必要箇所数	達成率(%)	100	100	100				
		実数値	14/14	26/26	11/11				
		ランク	A	A	A				

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	11,300	11,400	20,850	11,200	10,700	
	決算額	11,298	11,391	20,850	11,198		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	河川や生活排水路等は生活に密着した身近な問題であり、住民の要望は多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	浸水対策や生活環境問題は行政が実施すべき事業である。。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	現地の諸条件を検討しコスト削減に努めている。		
		根拠	小規模な改修であるため。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	小規模な改修であるため。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 生活排水路等の改修工事を実施する。 (横越町他4箇所)	平成31年度計画 生活排水路等の改修工事を実施する。 (漆原町他4箇所)

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	道路消雪事業	事業コード	882
------------	--------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	447
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	道路・河川・公園の保全	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	冬期間の、通勤通学路の安全確保および円滑な道路交通を確保する。				
	概要	市道において消雪施設の整備を行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	設計業務の一部委託および消雪工事を民間業者に発注している。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
			実績値					

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	道路消雪実施路線数	路線	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	2	3		
	計算根拠		達成率(%)	100	200	300		
		実数値						
		ランク	A	A	A			

会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.75
事業タイプ	交付金事業	事業要員	臨時・嘱託	
経費区分	普通建設事業費	事業要員	※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	28,400	5,920	25,000	36,978	122,000	
	決算額	28,400	5,918	23,828	36,978		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	降雪時における道路消雪設備は快適な交通環境においては特に有効であり、安全安心な まちづくりの推進に必要である。また、各町内より多くの要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市で管理している市道の整備である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	工法比較を行い、経済的な工法を採用しているため。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	現行制度の中で、最も有利な事業で実施しているため。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>		根拠	計画的に実施しているため。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 消雪施設の整備計画をたてて計画的に実施する。 ・鯖江駅北線 ・杉本16号線 ・王山線 ・北鯖江線 ・北鯖江定次線	平成31年度計画 消雪施設の整備計画をたてて計画的に実施する。 ・鯖江駅北線 ・北鯖江線 ・北鯖江定次線 ・水落中8号線 ・本町7号線

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	幹線道路整備事業	事業コード	910
------------	----------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	447
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	道路・河川・公園の保全	

PLAN(計画)	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	老朽化の著しい幹線道路(都市計画道路)の改修を行い、安全で快適な通行を確保する。					
	概要	幹線道路の舗装改良や歩道の段差解消の工事を行う。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	民間等委託(一部)				
	内容	設計業務の一部委託					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	道路改良路線数		路線	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	2	1	3		
	計算根拠			達成率(%)	200	100	300		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	交付金事業			臨時・嘱託				
	経費区分	普通建設事業費			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	20,000	23,000	90,000	39,291	40,000	社会資本整備総合交付金		
	決算額	20,000	22,880	11,010	39,291				

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	安全安心なまちづくりの推進および快適な交通環境の維持には必要である。また、各町内からも多くの要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市で管理している市道の整備であるため。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	工法比較を行い、経済的な工法を採用しているため。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	現行制度の中で、最も有利な事業で実施しているため。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	計画的に実施しているため。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 幹線道路の道路改良工事を行う ・鯖江河和田線 ・鯖江瓜生線 ・長泉寺トンネル線	平成31年度計画 幹線道路の道路改良工事を行う ・鯖江河和田線 ・北部循環線 ・長泉寺トンネル線

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	松くい虫被害総合対策事業	事業コード 1063
------------	--------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 魅力ある雇用の創出	基本施策 もうかる農業経営の確立	実施施策 農業基盤の整備促進
	154			

PLAN(計画)	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	松くい虫被害対策を計画的かつ総合的に実施してその蔓延を防止することにより松林を保全する。					
	概要	被害調査(県:1/2、市:1/2)、高度公益(県:3/4、市:1/4)、地区保全(県:1/2、市:1/2)					
	法令根拠						
実施形態	現在	民間等委託(全部)					
内容	松くい虫の被害調査や伐倒駆除を森林組合に発注している。						

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
		実績値						

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	事業実施集落数	集落	目標値				1	1
			実績値					
	計算根拠	実施集落数	達成率(%)					
			実数値					
	事業実施率	%	目標値	100	100	100		
実績値			100	100	100			
計算根拠	駆除量(m <sup>2</sup> ) / 駆除予定量(m <sup>2</sup> ) ※春期に被害調査を行い、森林組合の報告値を記入	達成率(%)	100	100	100			
		実数値	60/60	54/54	53/53			
		ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	補助(県)事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称 松くい虫被害総合対策事業補助金
	予算額	1,303	1,197	1,112	1,160	1,160	
	決算額	1,303	1,106	1,048	1,052		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	松くい虫被害の全国的なまん延から、全国各地で、被害防止のための対策が講じられており、自然や森林の環境の保全是国民の願いである。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	松くい虫の病原菌が、各地に拡散しないよう各自治体で対策をとる必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	県の補助事業で、コストの削減の余地はないと考えられる。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	県の松くい虫被害総合対策事業実施要領に基づいて実施している		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	県の補助事業の事業採択を受けて実施している。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	松くい虫の拡散を防止するため、松くい虫被害調査、伐倒駆除等について継続的に実施する。	平成31年度計画	特に松くい虫の被害の大きい河和田地区を中心に、病害虫の拡散を防止するため、松くい虫被害調査、伐倒駆除等について継続的に実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施



平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	作業路開設調査事業補助金	事業コード	1131
------------	--------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進

154

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	1997	終了年度	9999
	目的	森林整備の促進を図るため作業路調査を行い森林の健全育成に努める。				
	概要	南越森林組合が作業路を開設する前に実施する地籍調査・現地調査(調査に伴う伐開)・測量に対し補助金を交付する。(負担割合:市1/2以内)				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	南越森林組合に補助金等を交付して、適切な森林整備を図っている。				

DO(実施)	活動指標									
	指標名			単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	作業路調査延長				目標値				6000	6000
					実績値					
	計算根拠	作業路調査延長			達成率(%)					
					実数値					
	事業実施率				%	目標値	100	100	100	
					実績値	100.1	100	102.7		
	計算根拠	作業路調査延長/作業路調査予定延長			達成率(%)	100.1	100	100		
					実数値	6005/6000	6002/6000	7192/7000		
					ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1				
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託					
	経費区分	補助費等			※所要時間	0				
【単位:千円】										
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称			
	予算額	2,700	2,700	2,700	3,150	2,700				
	決算額	2,700	2,700	2,700	3,150					

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	林業採算性の悪化、森林所有者の高齢化により、森林所有者と森林組合が森林施業につ いて長期受託契約を締結し、森林整備を計画的に実施しており、ニーズは多いにある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	森林は多面的機能を持ち、市民の生命、財産を守る上でも重要な役割を果たしているた め、その森林整備に要する作業路の開設に必要な事前の現地調査に対し助成する。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	調査業務のほとんどが人件費であるため困難。	
根拠			補助対象外である。		
有効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	計画的に実施しているため。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 作業路の開設を円滑に進めるため、調査費を補助する。	平成31年度計画 森林の健全育成管理を図るため、除間伐、枝打ち、造林 等、森林整備のための作業路開設調査費に対し補助す る。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	間伐材等有効利用促進事業補助金	事業コード 1133
------------	-----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	間伐材の搬出・運搬に係る経費を助成することにより、森林整備の推進、間伐材の利活用の促進を図るとともに、森林所有者の森林管理意欲の喚起および森林の持つ多様な機能の高度発揮に資する。				
	概要	間伐材利用搬出促進事業の事業実施主体である南越森林組合に、間伐材の搬出・運搬に対し補助金を交付する。(搬出した間伐材の材積に対して補助する。) 鯖江市1,700円/m <sup>3</sup> <参考 補助: 県1,700円/m <sup>3</sup> >				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
内容		南越森林組合に補助金等を交付して、適切な森林整備を図っている。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
			実績値					

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	事業実績(量)	m <sup>3</sup>	目標値				1000	1000
			実績値					
	計算根拠	間伐材搬出量	達成率(%)					
			実数値					
	事業実施率	%	目標値	100	100	100		
実績値			104.2	103.6	100			
計算根拠	間伐材搬出量(m <sup>3</sup> ) / 間伐材搬出予定量(m <sup>3</sup> )	達成率(%)	104.2	103.6	100			
		実数値	1011/970	1005/970	330/330			
		ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,000	1,649	1,649	561	1,649	
	決算額	1,000	1,649	1,649	561		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	間伐材の利用は、地球温暖化の防止や再生産が可能な資源として循環型社会の形成への 貢献など、地球環境の面でも新たな役割が注目されており、自然や森林の環境の保全は 国民の願いである。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市内における集団的な間伐を促進させ、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るた め、市が行う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		事業名			
	類似重複	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	県の間伐材利用搬出促進事業として実施しており、県の補助内容をみて、市で補助金を を決定しているので余地はない。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>		根拠	間伐材の利活用の促進を図るため、県補助の他に市が補助する。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	搬出実績に応じた補助であるため。			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 間伐材を有効利用するために、搬出費用を補助する。	平成31年度計画 間伐材の利活用の促進を図るため、南越森林組合が集団 的に行う間伐材搬出費用に対し補助する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	農道維持補修事業	事業コード	1150
------------	----------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	農道に関する補修工事や碎石の支給を行い、農作物運搬での荷傷を減らし、安全に走行できる農道を維持する。				
	概要	地元への碎石支給および補修工事。(市:75%、地元:25%)				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	農道を維持するための砂利の支給および破損箇所への補修工事の実施		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	農道補修用敷砂利支給集落数		集落	目標値				1	1
				実績値					
	計算根拠	敷砂利支給集落数		達成率(%)					
				実数値					
	農道補修用敷砂利支給率		%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	-		
	計算根拠	敷砂利支給集落数/敷き砂利要望集落数		達成率(%)	100	100	-		
				実数値	2/2	2/2	0/0		
				ランク	A	A	-		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.05			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	維持補修費			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	1,000	500	500	400	400			
	決算額	391	303	281	0				

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	農道が農耕車等の通行により水溜りなどができ、補修が必要となり、敷き砂利などの補修要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	農道については、営農に欠かせない施設であり地元と協力して市も実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	水溜り等があり、地元から要望がある場合に敷き砂利を支給するもので、これ以上削減はできない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	補助対象外であるのでない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	地区によって維持管理の程度にばらつきがあるため、維持管理の重要性を地元の人に理解してもらう。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 農道に関する補修工事や砕石の支給を行い、農産物運搬での荷傷を減らし、安全に走行できる農道を維持するため、地元への砕石支給および補修工事等を実施する。	平成31年度計画 農道に関する補修工事や、地元が行う農道の維持補修に必要な砕石の支給を行い、農産物運搬での荷傷を減らし、安全に走行できる農道を維持する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	土地改良協会運営補助事業	事業コード	1153
------------	--------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業基盤の整備促進

154

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	土地改良協会へ補助金を出し指導することにより、土地改良区相互を連携させ、土地改良事業等を円滑に推進できる組織体制を維持する。				
	概要	土地改良協会に対し、運営活動の補助を行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	土地改良協会へ補助金を交付。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
			実績値					

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	補助土地改良区数	土地改良区	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	11	11	11		
	計算根拠	補助土地改良区数	達成率(%)	100	100	100		
			実数値					
		ランク	A	A	A			

会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.01
事業タイプ	単独事業	事業要員	臨時・嘱託	
経費区分	補助費等	事業要員	※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	200	200	200	200	200	
	決算額	200	200	200	200		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	均衡ある農業基盤の整備を図るためには、市と各土地改良区の連携が必要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	各土地改良区に対し、指導・助言また協力依頼を行いながら、各種の土地改良事業の推進や農地保全を図っていくことが必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	市の補助金交付要綱では予算の範囲内となっている。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	土地改良協会の運営費に対して一部補助しているので無い。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	各土地改良区を、全て統合すれば効率的である。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	土地改良区相互の連携、土地改良事業等の円滑化等の推進を図れるよう組織体制を維持するために土地改良協会に対し、運営補助を実施する。	平成31年度計画	土地改良区相互の連携、協力、また土地改良事業の円滑な推進を図れるよう組織体制を維持するために土地改良協会に対し、運営費に対し補助する。 ・鯖江市管内の12土地改良区

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施



平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	土地改良区合同事務所運営補助事業	事業コード 1154
------------	------------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業の担い手づくり

151

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	事務の効率化・低コスト化を図るため、土地改良区を連携させ土地改良区合同事務所に補助金を出すことにより、土地改良事業等が円滑に推進できる組織にする。				
	概要	土地改良区合同事務所に対し、運営事業の補助を行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(全部)			
	内容	事務の効率化・低コスト化を図るため、土地改良区を連携させ土地改良区合同事務所に補助金を出すことにより、土地改良事業等が円滑に推進できる組織にするため、運営事業の補助を行う。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	合同事務所利用土地改良区数		土地改良区	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	10	10		
	計算根拠	土地改良区数		達成率(%)	100	100	100		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.01				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託					
	経費区分	補助費等		※所要時間	0				

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
	決算額	1,800	1,800	1,800	1,800		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	土地改良区の一体化は、運営上も効率的であり、農家の負担が軽減されている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	農地や農業用施設は多面的機能を有し、さらに土地改良事業の推進や農家等へ指導、また市からの協力体制を確立するには効率的である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	市の補助金交付要綱では、予算の範囲内となっている。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし		根拠	土地改良区合同事務所の運営費に対し、一部を補助しているので無い。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	土地改良事業の円滑な推進の他、防災体制の強化のため、一層の協力を求めていく。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input style="color: red;" type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	土地改良区の連携や事業の効率化・低コスト化、土地改良事業等の円滑化等をより一層推進するため、運営補助を実施する。	平成31年度計画	鯖江土地改良合同事務所が行う土地改良区間の連携や事業の効率化・低コスト化、土地改良事業等の円滑化をより一層推進するため、運営費に対し補助する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	林道維持管理事業	事業コード	1157
------------	----------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	153
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業、農村の多面的機能の維持、発揮	

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	林道の維持管理を行い、林業の生産の維持および経営の安定を図る。				
	概要	林道愛護組合等（上河内町・尾花町・沢町・椿坂・寺中町・上戸口町）に林道の維持管理の委託、砕石等原材料の支給を行う。				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	林道愛護組合等に林道の維持管理の委託、砕石等原材料の支給を行う。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	維持管理路線		路線	目標値	35	35	35	35	35
				実績値	35	35	35		

DO (実施)	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	事業実施距離		km	目標値				35	35
				実績値					
	計算 根拠	維持管理路線距離		達成率 (%)					
				実数値					
	事業実施率		%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	100		
計算 根拠	維持管理路線/維持管理予定路線		達成率 (%)	100	100	100			
			実数値	35/35	35/35	35/35			
			ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	維持補修費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	770	770	770	670	720	
	決算額	765	704	670	670		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	木材価格の低迷等で、森林への関心が薄れているのが現状ではあるが、森林を抱えている地区からの要望はある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	林道は多面的機能を有している森林を維持・管理するために不可欠な施設であり、その林道の維持管理は、市が行う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		事業名			
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	最低賃金を基に委託料を算定しているので余地はない。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助対象外であるので無い。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	地区によって維持管理の程度にばらつきがあるため、維持管理の重要性を地元の人に理解してもらう。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 林業の生産の維持および経営の安定を図るため、林道愛護組合等（上河内町・尾花町・沢町・椿坂、寺中町・上戸口町）に林道の維持管理の委託、碎石等原材料の支給を行う。	平成31年度計画 林業の生産の維持および経営の安定を図るため、林道愛護組合等（上河内町・尾花町・沢町・椿坂、寺中町・上戸口町）に林道の維持管理の委託、碎石等原材料の支給を行う。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	道路環境美化（道路里親制度）事業	事業コード 2501
------------	------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	446
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	美化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	土木課		開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	市民の身近な公共物である道路の維持管理は、市の施策だけでは充分に行き届かず、雑草やごみなどにより道路環境の悪化につながるため、近隣に居住する市民団体等と協働しながら道路の環境美化および適正な維持管理を実施する。					
	概要	里親（区長、集落の団体等）と市とが合意書を交わし、道路を管理してもらう制度で道路環境の美化を図る。 【里親の役割】 ①空缶、吸殻等の散乱ごみの回収 ②植樹木の除草・水やり ③情報提供（道路の破損等） ④花苗の植栽等 【市の役割】 ①市民総合賠償保険の加入 ②里親名を記した表示板の設置 ③花苗・肥料購入費等の一部助成					
	法令根拠						
実施形態	現在	補助金等交付					
	内容	花苗や種子、肥料、除草剤、草刈機油、鎌、移植ごて、ゴミ袋、軍手、お茶等の購入費用について5万円を限度として報償費を支給する。					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	広報誌等による周知回数	回	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	新規里親登録の申出に対する養子縁組数	件	目標値				2	2
			実績値					
	計算根拠	新規里親登録申出数	達成率(%)					
			実数値					
	新規里親登録の申出に対する養子縁組の達成率	%	目標値	100	100	100		
		実績値	100	100	100			
計算根拠		達成率(%)	100	100	100			
		実数値	1/1	1/1	1/1			
		ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,435	875	900	905	900	
	決算額	726	754	778	905		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	集落内にある県道、市道沿線をきれいにしたいという気持ちが、市民の方から挙がっている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	道路の清掃美化業務は行政が実施すべき事業であるが、一部事業の実施に当たって、地域の方々の協働・参画活動の一環として実施している。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名	県道「道守」活動事業	
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	主旨、目的等は同様であるが、市道、県道と所管が別れているため。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		事業名			
		根拠	里親となっている地域団体への謝礼として花・肥料等の購入費用の一部のみを支援しており、事業の実施計画および実施内容等はあくまで里親のボランティア意識によるものである。		
		根拠	本来、市がすべき道路の環境美化業務を市民との協働で実施する事業であり補助制度はない。		
		根拠	市民に対する事業の目的および意義の普及啓発活動を推進し、里親となる地域団体の数の増加を図る。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	市民に対する事業の目的および意義の普及啓発活動を推進し、里親となる地域団体の数の増加を図るとともに、併せて里親の積極的な活動を促す。	平成31年度計画	広報、HP、出前講座等を通じて、市民に対し当事業の目的および意義の普及啓発活動を推進し、里親となる地域団体の数の増加を図る。併せて里親の積極的な活動を促進させる。 道路と河川の里親制度事業は1つに統合する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	河川環境美化（河川里親制度）事業	事業コード 2503
------------	------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	美化活動の推進
446				

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	市民の身近な公共物である河川（水路）の維持管理は、市の施策だけでは充分に行き届かず、雑草やごみなどにより河川環境の悪化につながることもあるため、近隣に居住する市民と協働しながら河川（水路）の環境美化および適正な維持管理を実施する。				
	概要	里親（区長、集落の団体等）と市とが合意書を交わし、河川（水路）を管理してもらう制度で河川（水路）環境の美化を図る。 【里親の役割】 ①河川敷等の空缶・吸殻等の散乱ゴミの回収 ②堤防の除草・水やり ③情報提供（堤防の破損等） ④花苗の植栽等 【市の役割】 ①市民総合賠償補償保険の加入 ②花苗・肥料購入費等の一部助成				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	花苗や種子、肥料、除草剤、草刈機油、鎌、移植ごて、ゴミ袋、軍手、お茶等の購入費用について5万円を限度として報償費を支給する。				

活動指標								
指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
広報誌等による周知回数	回	目標値	2	2	2	2	2	
		実績値	2	2	2			

成果指標								
指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
新規里親登録の申出に対する養子縁組数	件	目標値				2	2	
		実績値						
計算根拠 新規里親登録申出数		達成率(%)						
		実数値						
新規里親登録の申出に対する養子縁組の達成率	%	目標値	100	100	100			
		実績値	-	-	-			
計算根拠		達成率(%)	-	-	-			
		実数値	-	-	-			
		ランク	-	-	-			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	100	50	50	30	30	
	決算額	0	0	0	0		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	集落に隣接する河川（水路）をきれいにしたいという気持ちが、市民の方から挙がっている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	河川（水路）の清掃美化業務は行政が実施すべき事業であるが、一部事業の実施に当たって、地域の方々の協働・参画活動の一環として実施している。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名	一級河川「川守」推進事業	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	主旨・目的は同様であるが、市道、県道と所管が分かれているため。		
	有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		事業名			

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	広報、HP、出前講座等を通じて、市民に対し当事業の目的および意義の普及啓発活動を推進し、里親となる地域団体数の増加を図る。併せて里親の積極的な活動を促進させる。	平成31年度計画	河川の里親については、事業に参画する団体が増えていない状態である。広報、HP、出前講座等を通じて、市民に対し当事業の目的および意義の普及啓発活動を推進し、里親となる地域団体数の増加を図る。 道路の里親制度事業に統合する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 可能						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施



平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	美しい森林景観再生事業	事業コード	2562
------------	-------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	153
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業、農村の多面的機能の維持、発揮	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	自然災害等により荒廃が見られる山ぎわの森林の機能回復を図るため、花木などの広葉樹等を植栽し、美しい森林景観の再生を図る。				
	概要	自然災害や森林病虫害等により機能が低下している森林の機能回復を図るため、広葉樹等の植栽を行い、美しい森林景観を再生する。<財源内訳：県90%、市10%>				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	花木などの広葉樹等の植栽を民間業者に発注している。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	美しい森林景観地区	地区	目標値	1	1	2	2	2
			実績値	3	4	3		

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	事業箇所数	箇所	目標値	1	1	2	3	3
			実績値	3	4	3		
	計算根拠	実施箇所数	達成率(%)	300	400	150		
		実数値						
		ランク	A	A	A			

会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
事業タイプ	補助(県)事業	事業要員	臨時・嘱託	
経費区分	普通建設事業費	事業要員	※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	2,284	3,000	4,328	3,723	2,000	
	決算額	2,284	2,250	4,328	3,723		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	近年、林業採算性の悪化等から森林の荒廃化が進み、森林景観や森林機能の低下がみられるが、憩いとやすらぎを与える美しい森林景観は、市民全体の願いである。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	森林の有する多面的機能は、市民にとって不可欠なものである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	設計段階で検討している。		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>		根拠	県の補助率が高率であり、県の補助要綱で定められている。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	予算の範囲内で実施している。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 森林機能が低下している森林の機能回復を図るために、 森林景観再生を石生谷集落、乙坂今北集落で行う。	平成31年度計画 山際において低下している森林の機能回復を図るため に、森林景観再生を上氏家町、乙坂今北町等で行う。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	橋梁長寿命化修繕事業	事業コード	2609
------------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	436
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなで作ろう安全・安心なまち	公共インフラの長寿命化	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	橋長2m以上の橋梁について調査を行い、安心して通行できる道路橋梁の長寿命化を図る。				
	概要	定期点検調査および詳細調査を実施し、学識経験者の意見を参考に橋梁の長寿命化計画を策定し、計画に基づき橋梁の修繕等を進める。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)			
	内容	橋梁の詳細調査・設計業務および工事を民間委託により実施する。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
			実績値					

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	修繕対応箇所数	箇所	目標値				3	3
			実績値					
	計算根拠	修繕箇所数	達成率(%)					
			実数値					
	修繕対応率	%	目標値	100	100	100		
			実績値	100	100	100		
計算根拠	修繕箇所数/修繕必要箇所数	達成率(%)	100	100	100			
		実数値	3/3	4/4	4/4			
		ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	補助(国)事業		臨時・嘱託	
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	15,800	28,300	20,620	22,049	20,000	
	決算額	11,200	28,232	20,620	22,049		

社会資本整備総合交付金

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	道路に対する住民の安全意識は高く、修繕が必要な場所等について通報や要望が多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	道路の一部である橋梁の管理は道路管理者の実施すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	橋梁の長寿命化を図ることが橋梁維持管理のコスト削減につながる。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助事業を活用している。	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	定期的な点検や早期の修繕が必要となるため、数年は多大な人手や費用を要する。

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 修繕計画に基づく修繕工事を実施する。 ・東公園橋 ・平井橋 ・金谷橋	平成31年度計画 修繕計画に基づく修繕工事を実施する。 ・仲屋橋 ・西前田橋 ・日野川沿排水路橋

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	多面的機能支払交付金事業	事業コード 2907
------------	--------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 魅力ある雇用の創出	基本施策 もうかる農業経営の確立	実施施策 農業、農村の多面的機能の維持、発揮
	153			

PLAN(計画)	部署名	土木課		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	地域の共同活動により機能維持してきた農業用施設の日常的な保全管理活動および長寿命化のための活動、高度な保全活動を支援し、安定した食料供給に貢献する。					
	概要	農地維持支払：日常的な保全管理活動 田30千円/ha 畑20千円/ha (国：50%、県：25%、市：25%) 資源向上支払(共同活動)：農地、農業用施設の補修、修繕などの活動 田15千円/ha 畑9千円/ha (国：50%、県：25%、市：25%) 資源向上支払(長寿命化)：長寿命化のための活動 田44千円/ha 畑20千円/ha (国：50%、県：25%、市：25%) 推進交付金：事業の円滑な推進に必要な経費(国：100%)					
	法令根拠						
実施形態	現在	補助金等交付					
	内容	取組活動組織からの申請に基づき、国の実施要綱に照らし適正であれば交付する。					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	取組活動組織(集落)数を増加させるための説明回数	回	目標値	2	2	2	0	
		実績値	2	2	0			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	活動集落数	集落数	目標値	74	74	74	74	74
			実績値	71	74	74		
	計算根拠	活動集落数/農振農用地を有する農村集落数		達成率(%)	95.9	100	100	
			実数値					
			ランク	A	A	A		

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.5
	事業タイプ	補助(県)事業		臨時・嘱託	1
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位：千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称 多面的機能支払交付金事業
	予算額	35,833	147,485	148,401	154,757	156,975	
	決算額	35,833	147,455	138,323	151,962		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	水路、農道、ため池等の農業施設は老朽化が進んでいるため地元のニーズは十分に ある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	支援については、地方の負担割合の中に県の負担分を含んで県が支出するため市が実施 すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	単価および負担率が国の施策で決まっているためコスト削減の余地はない。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	単価および負担率が国の施策で決まっているために今以上の財源確保の方法はない。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	現在の活動区域は、補助対象となる農用地の80%であり、取組率はかなり高いが、支援 の方法により向上の余地はある。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み	「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農地維持支払、資源向上支払（共同活動）、資源向上支払（長寿命化）を実施し、農地の多面的機能の維持保全を図る。	平成31年度計画	「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農地維持支払、資源向上支払（共同活動）、資源向上支払（長寿命化）を実施し、広域を含む14組織に対し補助する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	浸水対策工事助成事業	事業コード 2961
------------	------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	434
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなでつくり安全・安心なまち	浸水被害総合軽減事業	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	大雨等による住宅(兼用住宅・店舗・事務所・駐車場を含む)の浸水被害を防止するために防水板の設置や住宅のかさ上げ工事を実施する場合、工事費の一部を補助することにより、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりの推進を図る。				
	概要	<p>【防水板設置工事】兼用住宅・店舗・事務所・駐車場の浸水を防止するため、住宅等の出入口や門扉等に浸水に耐える材質で取り外しまたは移動可能な防水板等を設置する工事(補助率3/4、上限額300千円)</p> <p>【住宅かさ上げ工事】浸水被害を防止するため、住宅等の基礎および床面を既存の高さよりも高くする工事(補助率3/4、上限額3,000千円)に対し助成する。</p>				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	住宅等の浸水被害を防止するため、出入口や門扉に防水板を設置する工事または住宅の基礎をかさ上げる工事について補助金を交付する。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
		回	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	助成対応者数	件	目標値				1	1
			実績値					
	計算根拠		達成率(%)					
			実数値					
	助成対応者数/助成申請者数	%	目標値	100	100	100		
実績値			-	-	-			
計算根拠	防水板設置工事 補助率3/4 上限額 300千円 住宅かさ上げ工事 補助率3/4 上限額 3,000千円	達成率(%)	-	-	-			
		実数値	-	-	-			
		ランク	-	-	-			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	3,900	3,900	3,900	300	300	
	決算額	3,000	0	0	0		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	大雨等による住宅（兼用住宅を含む。）の浸水被害を防止するために防水板の設置等の 工事を実施する場合、工事費の一部の補助を求める要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	大雨等による住宅（兼用住宅を含む。）の浸水被害を防止することにより、安全・安心 で快適に暮らせるまちづくりの推進を図ることは、行政が実施すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	特に住宅のかさ上げに要する費用に対する補助金の額について、補助率3/4、上限額 3,000千円としているが、実際には個人の費用負担がかなり高額となる。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市が個人に対して実施する浸水対策に関する助成制度に対する補助制度がない。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>		根拠	市民に対し制度内容の周知・普及を一層進める。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 市民に対し制度内容の周知・普及を一層進めるととも に、市民が利用しやすい制度への変更を検討する。	平成31年度計画 広報やHPを活用し、市民に対し制度内容の周知・普及を 一層進めるとともに、市民が利用しやすい制度への変更 を検討する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施



# 平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	通学路防犯灯整備事業	事業コード 3059
------------	------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなでつくろう安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
431				

PLAN(計画)	部署名	土木課		開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	農用地内など家屋が途切れた夜間に暗く危険な通学路に、LED防犯灯を設置し通学生の安全確保を図る。					
	概要	農用地内など電気料の負担問題等により、防犯灯が設置されておらず夜間危険な通学路において、交通事故の防止や安全で円滑な通行の確保のために、交差点など必要な箇所にLED防犯灯を設置する。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	民間等委託（一部）				
	内容	工事は業者に発注する。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	実施箇所数		箇所	目標値				1	1
				実績値					
	計算根拠	実施箇所数		達成率(%)					
				実数値					
実施箇所/必要箇所		%	目標値	100	100	100			
			実績値	100	-	100			
計算根拠	実施箇所数		達成率(%)	100	-	100			
			実数値	10/10					
			ランク	A	-	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員				
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	物件費			※所要時間		20		
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	2,000	890	600	6,052	500			
	決算額	1,636	890	0	6,052				

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	通学路の安全面に関する要望は多い。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	交差点などの交通事故防止や、歩行者等の夜間の安全かつ円滑な通行のために必要性の高い箇所についての道路照明整備は、行政が実施すべき事業である。		
	効果・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	各地区自治会等	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>	
			事業名	集落内の防犯灯設置		
	効率・効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	所管課	市民協働課	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>	
			事業名	安全で明るいまちづくり補助金		
			根拠	集落内の防犯灯への補助の為		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	積算基準に基づいている。			
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助金を活用する事業である。		
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	予算内で重点箇所から整備していく。	

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	地元からの要望をもとに、防犯灯を設置し、通学路の安全を確保する。	平成31年度計画	地元からの要望をもとに、防犯灯を設置し、通学路の安全を確保する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	日野川砂礫河原再生事業	事業コード	3061
------------	-------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	434
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなでつくろう安全・安心なまち	浸水被害総合軽減事業	

PLAN (計画)	部署名	土木課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	日野川河川敷は鯖江百景であり市民にも親しまれる憩いの場であるが、近年、ダムの建設などに伴う洪水の発生頻度の低下により、河原に土砂が堆積し、砂州の樹林化や水生生物の減少など影響が出ている。砂州の切下げ等により、冠水頻度を向上させ自然の営力により砂礫河原を再生し、優れた河川景観を創出する。 中長期的に市民による川の利用促進、砂礫河原再生状況や水辺空間の安全確認の為、川を使った体験型イベントを実施し、川への興味関心を深めることにより河川愛護活動の活発化につなげ、鯖江のまちづくりの魅力向上を図る。				
	概要	親水体験（学ぼう！遊ぼう！河原へGO!）：川流れ体験、鮎釣り、水質・水生生物調査、ボート体験				
	法令 根拠					
実施 形態	現在	民間等委託（一部）				
	内容	親水空間の整備等は工事で発注し、川遊びの普及は市民団体等との協働で行う。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	イベント参加チラシ配布による周知（市内小学校児童）	枚	目標値	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	
実績値			2,800	2,800	2,800				

DO (実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	イベント参加者数	人	目標値	40	40	40	40	40	
			実績値	57	49	70			
	計算 根拠			達成率 (%)	142.5	122.5	175.0		
	砂礫河原の再生面積	㎡	目標値	3,000	3,000				
			実績値	8,000	6,000				
計算 根拠	水路延長 210m×8m (H24はみお筋造成面積) H25～は表土切り下げ面積		達成率 (%)	266.7	200				
			実数値						
			ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業 要員	正規職員	0.08
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	50

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,300	1,340	1,400	380	400	
	決算額	1,237	1,336	1,182	380		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	河川公園として整備され、河川草刈、清掃や菜花植栽など、多様な市民活動が行われており、環境整備への市民のニーズは高い。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	河川工事は、市民活動による整備は期待できないため、行政が実施すべきである。親水体験活動については、市民団体や関係団体との協働について検討していく。		
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>	
			事業名			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>		
		事業名				
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	効果のある親水体験を実施するためには安全管理者の増員が必要である。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助事業のメニューがない。			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市民に対し周知し参加者を増やし、さらなる川の利用促進・水難事故防止に繋げる。			

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	砂礫河原再生の検討調査および砂礫河原の拡大を図る。また、体験型イベントを通して勉強会等を開催し、川への興味や関心を深め、さらなる川の利用促進、水難事故防止の啓発を行う。	平成31年度計画	砂礫河原再生の検討調査および砂礫河原の拡大を図る。また、体験型イベントを通して勉強会等を開催し、川への興味や関心を深め、さらなる川の利用促進、水難事故防止の啓発を行う。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="text" value="不可能"/>
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	農業水利施設保全事業	事業コード	3122
------------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	153
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業、農村の多面的機能の維持、発揮	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	農業の基盤となる、農地、農業用施設等の保全管理と農村環境の向上および農業生産基盤強化を図る。				
	概要	農振農用地除外地における農業用施設の保全管理と、老朽化した農業用施設の補修等長寿命化等の活動に対し支援する。 2,200円/反				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	補助金等交付			
	内容	鯖江市農地水協議会を通じて各活動団体に対して交付する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	啓蒙普及、活動体制強化のための説明会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2	
			実績値	2	2	2			

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	活動組織数	団体	目標値	7	7	7	8	8	
			実績値	7	7	8			
	計算 根拠	達成率 (%)		100	100	114.3			
実数値									
	ランク		A	A	A				

タイプ	会計	一般会計	事業 要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	
	決算額	1,818	1,787	1,754	1,984		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	水路、農道、ため池等の農業施設は老朽化が進んでいるため地元のニーズは十分である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	道の駅の開設等による都市近郊農業の振興は地域の活性化を行ううえで必要であり行政が関与すべきものである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		事業名			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	所管課	土木課	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
		事業名	多面的機能支払交付金事業		
根拠		農振農用地以外では実施できない。			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	国が示している単価を準用しているものであるため単価の変更ができない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	農振農用地除外地での生産振興は、都市近郊型農業振興で鯖江市特有のものであり補助事業等の適用が困難である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	対象集落が限られているため、それ以上には実施できない。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 地域共同作業による農地、農業用施設等の資源の日常的な保全管理活動を支援する。	平成31年度計画 国の多面的機能支払交付金対象外の農地における、地域共同活動（農地、農業用施設等の資源の日常的な保全管理活動）に対し補助する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

# 平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	松林再生モデル事業	事業コード
		3123

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	農業、農村の多面的機能の維持、発揮

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	松くい虫被害等により、昔の風景であった松林が失われており、山林への意識が低下していることから、松林の再生を行い、副産物を活用し地域の活性化を行う。				
	概要	松くい虫被害等で荒廃している松林の手入れと対抗性松の植樹による再生を市民協働で実施する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	松林再生のための森林管理を地元組織に委託する。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	松林再生等検討会の開催回数	回	目標値	3	3	3	2	2
			実績値	3	3	3		

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	松林の再生面積	ha	目標値	1.4	2.7	2.9	2.9	2.9
			実績値	1.5	2.7	2.9		
	計算根拠	間伐：1.0ha×2ヶ年 植栽：0.3ha×8ヶ年		達成率(%)	107.1	100	100	
			実数値					
			ランク	A	A	A		

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位：千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	100	200	200	200	200	
	決算額	100	200	200	200		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	過去は松林の副産物がありそれによる地域の活性化が行われており、地域団体も機運が高まっており住民のニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	松林再生による地域活性化施策の策定であり、行政が関与すべきものである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	地元集落に松林の管理を委託しており、これ以上の削減は困難である。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助対象外であるので無い。	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	予算の範囲内で実施している。

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 松林の再生を図るため、下草刈り等、森林保全活動を支援する。	平成31年度計画 松林の再生を目的として活動している、「石生谷松林再生委員会」が行う下草刈等の森林保全活動に対して補助する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施



平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	地域ぐるみ除雪機械整備費補助金	事業コード 3129
------------	-----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	447
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	道路・河川・公園の保全	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	県や市が行う学校周辺の一部の通学路の歩道を除き、歩道や幅員の狭い道路は、地域住民が協力し地域ぐるみの除雪を行っているが、各公民館に1台ずつ配置している小型除雪車のみでは除雪機械が不足しており、また人力除雪では効率が悪く人員の確保も困難なため、除雪機械の不足は地域による除雪の普及促進の障害となっている。そこで、地域ぐるみで除雪を行う自治会等に対し除雪機械等の購入費を補助することにより、地域の除雪能力を強化し、雪に強く快適なまちづくりを推進する。				
	概要	補助対象者：歩道や市道、公共施設の除雪を行う自治会等 対象経費：除雪機械および除雪用付属品の購入費 <補助率> 手押し小型除雪機 … 対象経費の2/3以内(補助限度額140万円) ホイールローダ … 購入費全額(補助限度額600万円) ※ H30.6要綱改正				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	自治会での除雪機械等の購入費に対し補助金を交付する。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	区長会への事業説明	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	除雪機械購入費に対する補助実施数	件	目標値				3	1
			実績値					
	計算根拠	補助実施数	達成率(%)					
			実数値					
	除雪機械購入費に対する補助実施率	%	目標値	100	100	100		
			実績値	100	100	100		
	計算根拠		達成率(%)	100	100	100		
			実数値					
		ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称 集落活性化支援事業補助金
	予算額	1,500	6,000	1,000	500	8,800	
	決算額	0	4,860	0	0		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	歩道や幅員の狭い道路は、地域住民が協力し地域ぐるみの除雪を行っているが、各公民館に1台ずつ配置している小型除雪車のみでは除雪機械が不足しており、地域による除雪の普及促進の障害となっている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	建設業者や建設業者などが保有する除雪機械が年々減少している現在、雪に強く快適なまちづくりを推進するためには、自助共助体制の充実を図り、地域の防災力を強化しなければならない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	町内自治会単位で実施する除雪活動に対する市民意識の高揚を図る必要がある。		
	有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市が町内自治会単位に対して実施する小型除雪機械の購入に関する助成制度に対する補助制度がない。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>		根拠	町内自治会に対し制度内容の周知・普及を一層進めることにより、市に頼るばかりではなく、地域ぐるみで実施する除雪活動に対する市民意識の高揚を図る。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 町内自治会に対する制度内容の周知・普及を一層進めることにより、地域ぐるみで実施する除雪活動に対する市民意識の高揚を図る。 (手押し型除雪機2台、乗用型除雪機1台)	平成31年度計画 市道の交通確保及び市民生活の安定を図るため、地域ぐるみで実施する除雪活動をさらに推進する。 町内自治会に対する制度内容の周知・普及を一層進め、過大となっている業者除雪の軽減に努める。 (乗用型除雪機1台)

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	地域再生道路整備事業	事業コード	3130
------------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	436
		安心で快適に暮らせるまちの創造	みんなで作ろう安全・安心なまち	公共インフラの長寿命化	

PLAN(計画)	部署名	土木課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	道整備交付金制度を活用しながら交通環境の整備を図るため、老朽化の著しい幹線道路の舗装改修や消雪工事を実施する。				
	概要	平井大倉2号線 他46事業				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)			
	内容	設計を民間に委託				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	※設定困難		目標値						
			実績値						

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	整備延長・箇所	m・箇所	目標値	1,000	1,000	2,000	1,000	1,000	
			実績値	1,358	4,466	2,042			
	計算根拠		達成率(%)	135.8	446.6	102.1			
			実数値						
		ランク	A	A	A				

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	補助(国)事業		臨時・嘱託	0.2
	経費区分	普通建設事業費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	63,000	47,000	218,892	97,742	131,538	
	決算額	63,000	47,000	218,892	97,742		

平成30年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	安全安心なまちづくりの推進および快適な交通環境の推進には必要であり、要望もある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市が管理する道路である	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		事業名			
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	積算基準が決まっている為。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	現行の制度でもっとも有利な事業で実施しているため		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	引き続き補助事業を活用する。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 杉本6号線他5路線を整備する。	平成31年度計画 北鯖江線他4路線を整備する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施